

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

本質のみを忠実に伝承する 中村 吉右衛門 (歌舞伎俳優)

1. 歌舞伎には、ある不文律があります。初めての役を演じる時には、教わった通りに演じ切る、というものです。教わることは様々です。最も重要なのは演じる人物の人生観や生き様、ある場面での心情などです。我々の言葉で性根と呼んでいるものです。基本に忠実であり、独創性も尊重する。歌舞伎が 400 年以上も興行として成り立ってきた理由の 1 つには、先人が築いたものを、後世に忠実に伝授していく習慣があるからだと思います。
2. 一方で、変化に対する寛容さも歌舞伎にはあります。先ほど、初演の際は教わった通りに演技しなくてはならないと紹介しましたが、実は 2 回目以降は自分なりの工夫を加えて演技することは認められているのです。それによって、先代とはひと味違った演技を作り上げていく余地があるのです。時代の移り変わりとともに、観客がその役や役を演じる役者に求めるものは違います。観客が今何を求めているのかを、役者や作者、脚本家と歌舞伎に関する様々な人たちが汲み取る努力を続けているのです。
3. 受け継ぐものは基本、だからこそ変化できるのです。歌舞伎がその時代に適応した形を取ってきたのは、本質のみを忠実に伝承してきたからだだと思います。どの世界も同じでしょうが、歌舞伎俳優も経験を重ねていくうちに、教わる側から教える側に立場が変わります。教える側が注意すべきは、自分の悪い癖まで伝えてはならない、ということです。

(参考:「日経ビジネス」2009 年 9 月 7 日号)

地域の活性化策

客と一緒にブタやウサギの飼育

1. メガバンクに将来性があるかと聞かれれば、かなり不透明だと言わざるをえません。しかし、財務省を頂点とした金融ピラミッドを幅広く支えている地方銀行の中には、なかなか面白いところがある。「今は地元の産業がない金融も振るわない。それなら銀行のほうから地元と一緒に産業界を興そう」という個性的な銀行も結構ある。
2. お客さんから笑顔で預金を集めて、融資のときはしかめ面で担保査定をする。そんな戦後のメガバンクがやってきた銀行業ではなくて、一緒にブタやウサギを飼育する、あるいは、この果物は事業になるかと考えながら、融資をする。それが成功すれば、地元の発展につながり、結局は自分たちに利益が返ってくるという仕事です。行員の給料が高度成長期のメガバンク並みになるとは思えませんが、「やりがい」はありますし、意外と伸びる可能性はあると思います。

(参考:「中央公論」:2009 年 11 月号)

経営者のための理念・哲学

吾れ唯足るを知る

牛尾 治朗 (ウシオ電機会長)

1. 戦後、社会の価値観が激変する中、私たち若い世代は、人生の意味や、日本の進むべき道について真剣に悩みました。そのようなある時、「吾唯足知」(吾れ唯足るを知る)の文字に出会い、目を開かれる思いがしました。ないことを嘆かず、あるものに感謝する。私は、日本人の原点がこの 4 文字にあったからこそ、高度成長の時期にもどこかでブレーキがかかり、ある程度の健全性が保たれたのだと思うのです。
2. しかし、戦後 60 年以上が過ぎ、時代はものから心の時代に移りました。日本は再び幸福論が必要な時を迎えたといえます。これからの日本の重要なテーマの 1 つが社会福祉です。人間の幸せというのは、生きる目的、使命感、志を持っていることや、誰かの役に立ち必要とされている実感、喜び、悲しみをともにしてくれる家庭や仲間にも恵まれていることが非常に大きな要素を占めると思います。人間の幸福についての理解がなければ、よい社会福祉政策も実現できません。「吾唯足知」という言葉も、その中で再び思い起こさなければならぬでしょう。(参考:「致知」2009 年 11 月号)

古典に学ぶ

生命の愛惜感

「思えば私達が、何ら自らの努力によらないで、ここに人間としての生命を与えられたということは、まことに無上の幸というべきでしょう。しかも私達は、これが何ら自己の努力によるものでないために、かえってこの生命の貴さに対して、深い感謝の念を持ち得ないのです。すなわち自分のこの生命に対して、真の感謝、愛惜の念を抱き得ないのです」

(参考:森信三「修身教授録妙」:致知出版社)